

学校教育目標

精一杯 自分の花を 咲かせよう

勉強に力いっぱい 運動に元気いっぱい 奉仕活動汗いっぱい みんな仲よく笑顔いっぱい 旭ヶ丘に花いっぱい

教育理念

未来に向かう子どもの今を見つめる学校づくり

めざす学校像

自分らしくいられる学校【居場所】
学ぶことが楽しい学校【居心地】

めざす子どもの姿 「学ぶ楽しさ創る自分」 「学び続けるわたし」

教育課題 見通しをもって粘り強く考える力・協働する力を育む

習得・活用・探究の学びの中で「対話のある」授業を通して、
考えや思いを深め、確かな学力を育成する

深い学びを実感できる授業づくり

●対話による思考の深化

根拠をもって考え伝え合い、共通点や相違点を見いだす対話を通して思考を深める。

●学びを支える学習環境の充実

ICTの活用や連学年による教科担任制・少人数指導等により、児童が主体的に学びを調整できる学習環境を整える。

●振り返りによる学びの自覚と自己効力感の育成

学ぶ前と学んだ後の自分を比較する振り返りを行い、できるようになったことを実感しながら、次の学びへつなげる。

協働する楽しさを友と味わう関係づくり

●互いのよさを認め合う関係づくり

自分のよさを感じるとともに友だちのよさを認め合い、温かな言葉で関係を深めながら、認め合い学び合う集団を育てる。

●安心して関われる学級風土づくり

分からないことや困ったことを伝え合い、SOSを出すことができる関係を大切にしながら、SST等を通して伝え方や関わり方を学び、互いの考えを尊重し安心して言える学級づくりを進める。

●人権感覚と生活基盤の育成

人権教育・健康教育等を通して、人格や個性を尊重する感覚を育てると共に、心身共に健やかな生活の土台を育む。

学び続ける子どもへ導くための教育システム

学び続ける子どもに導く学習システム

- 相森中学校区三校を基盤にした小中で連携した学力向上・人権教育取組の推進
- 須坂市園小接続カリキュラムに基づく幼稚園・保育園・子ども園との連携

学び続ける子どもに導く協働システム

- 旭ヶ丘小コミュニティスクール・北部児童センターをはじめとした地域との連携
- ボランティア・外部講師等様々な方々との交流・活動

学び続ける子どもに導く研修システム

- 研究主任を中心に定期的に全職員で行う「授業改善ミーティング」
- 児童の有り様を捉え、授業を考え創る「旭ヶ丘の子どもを語る時間」